

民主
PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

平成25年2月1日

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一



～ 協同 共生 安心 ～

前衆議院議員 民主党静岡県第3区総支部

小山のぶひろ 氏に訊く

○多くのご声援を賜り、ありがとうございます。ありがとうございました。

昨年十二月十六日に投票の行われた第四十六回衆議院選挙におきましては、大変な民主党への逆風の中、六二、二五九票を獲得いたしました。皆様とともに今回の総選挙を戦えたことを何よりもうれしく思いますし、自分自身の誇りに思います。また、結果として、皆様のご期待に応えることができなかつたことについて、大変申し訳なく思っております。

これまでの衆議院議員としての活動には一点の曇りもありません。前回の総選挙においては、「政権交代という日本政治史上の一大変化の一翼を担うのだ、負けることを恐れて戦わないことはもつとも恥ずべきことだ、との気概を持って取り組み、目的を達成することが出来ました。その後、私の力不足でご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、議員活動については、全力を尽くすことができました。解散の時期の関係で、やり遂げられなかった仕事もあります。任期中は精一杯、取組むことが出来ました。悔いはありません。また、このような議員活動ができたのも、地元・東京の両事務所において、素晴らしいスタッフに恵まれたおかげと思っております。改め

「ご声援ありがとうございます」ございました

社会保障切り捨て、とりわけ医療切捨ての政治が再来するのではないかと。また、TPPについては、「聖域なき関税撤廃のないTPP交渉には参加しない」と自民党は主張して来ましたが、具体的にどの品目を守るのか、非関税障壁の分野はどうするのか、交渉の具体的な戦略は全く示されておりません。そして、原発政策についても、自民党が選挙の際に主張していた公約と異なる方向へ進みつつあります。これらの点について、今後の動きを注意する必要があります。あると考えています。

今後も政治活動を続け、次回衆院選に捲土重来を期す考えです。セーフティネット破壊、新自由主義、マネーゲームの政治に回帰していく可能性が高い政治状況となつてしまいました。これからもセーフティネットの必要性を訴えらるとともに、助け合いの社会、絆を感じられる社会、協同・共生の社会を築くべく、頑張つて参ります。また、選挙においては、「消去法」で選択されるのではなく、「小山を知っているぞ」「小山がいいぞ」と積極的に選択していただけるように、自身も成長しつつ、今後の政治活動に取り組

前衆議院議員 小山 展弘